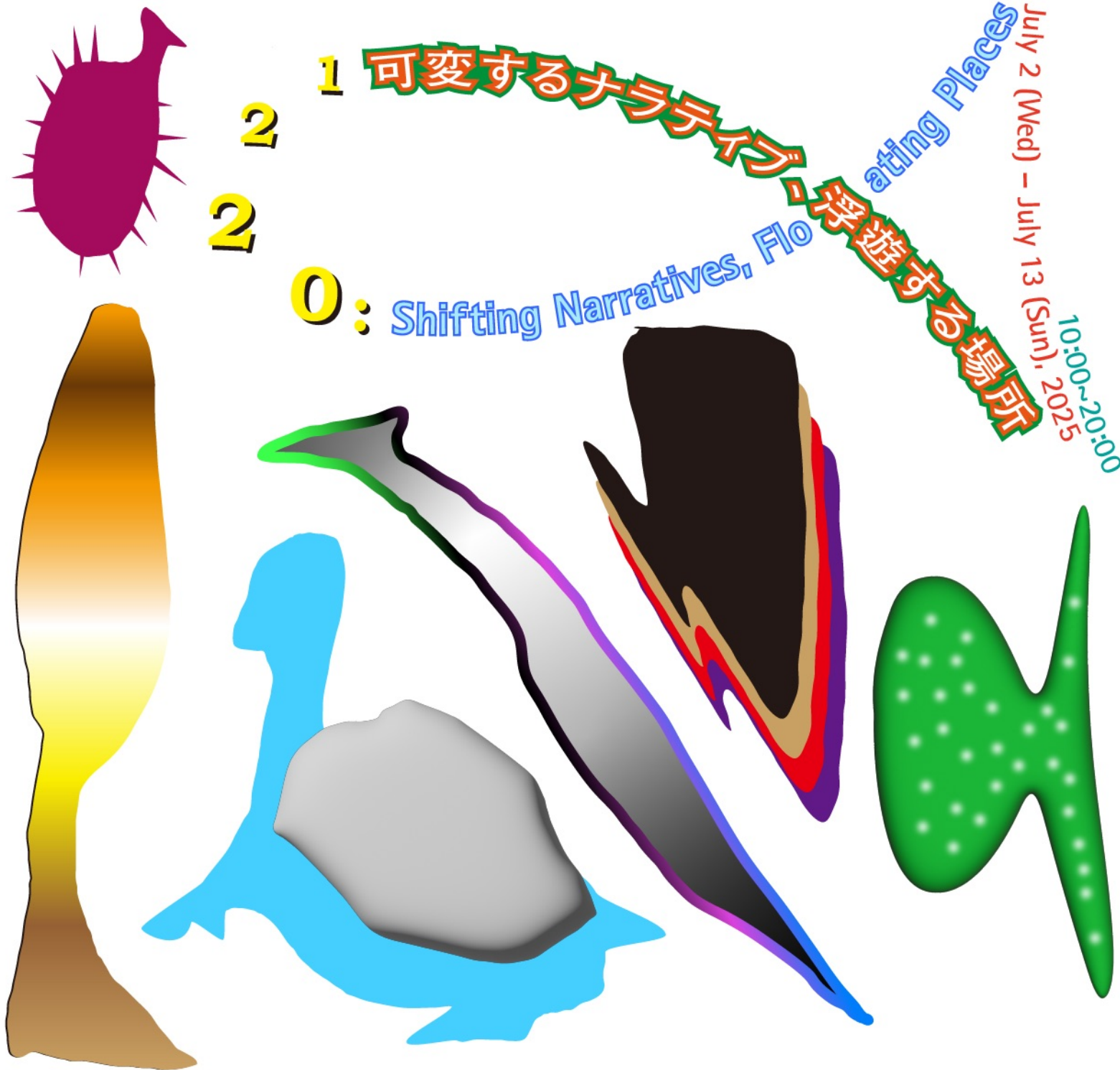




1 可変するナラティブ・浮遊する場所
2 2
0: Shifting Narratives, Floating Places
July 2 (Wed) – July 13 (Sun), 2025
10:00~20:00

「1220」は、リサーチに根ざしたアート実践 (research-based art) を軸に、写真・映像・レコーディングといった時間の次元を持つメディアを手がかりとして、人間の感覚と空間が交錯する「場」の表現を探求している。リサーチと制作の往還を重ねながら、インスタレーション、ワークショップ、参加型パフォーマンスへと表現の領域を広げている。

Yangは、写真や映像を通じた場所の表象に取り組み、写真論・映像論の視点から、個人の経験がいかに媒介され、共有可能な場所として立ち上がるかを考察している。

Luは、デザイン、アート、キュレーションを学び、「場所の雰囲気」と「人間の感知・語り」の相互循環に関心を寄せ、場所を現象的に捉える表現の可能性を研究している。

武蔵野美術大学での研究活動を共にしながら、日本での経験や、それぞれの出身地・文化的背景・アイデンティティへの意識を交錯させ、リベラルアーツ、メディアアート、デザインアートの複合的な視点から、アートによる場所の記録と解釈の可能性を探ってきた。

本展は、その実践のプロセスを共有し、アーカイブとして提示するものである。

武蔵野美術大学 社会連携拠点 1/M(イチエム)

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-4 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス2階

JR中央・総武線「市ヶ谷」駅より徒歩3分 / 東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅、都営新宿線「市ヶ谷」駅4番出口より徒歩3分

ins: y1220/1220